

学校教育目標	学びあう私たちが目指す姿 「正解から回答へ」「思考から試行へ」「成功から成長へ」 ○自分らしく生きるために様々な面から自己を磨く生徒【知 徳 体】 ○自他の良さや違いを認め合い、それを集団や社会の中で生かしていく生徒【徳 公 開】 ○進取の精神と広い視野を持ち、自律的に生活する生徒【体 公 開】				
	学校概要 創立 15 周年 児童生徒数: 760 人	学校長 佐藤 和弘 副校長 増田 友昭	3 学期制 一般学級: 21 個別支援学級: 4	主な関係校: 山田小学校・東山田小学校・北山田小学校	

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
未来を創り出す力 自己実現に向けて努力できる力 自分の価値を認め、評価できる力 多様な価値観を理解できる力 自ら考え行動し課題を解決する力 交流し協働できる力(友だちや地域)	東山田中学校 山田小学校 北山田小学校 東山田小学校	自分を高め、互いを認め合い、人とつながる児童・生徒を育みます 中学校ブロック4校の教職員の共通理解のもと、児童一人ひとりの存在をしっかりとみつめ、よさや違いを認め合い、学校内外の人とのかかわりを大切にした教育活動に取り組みます。

中期取組目標	○学校・家庭・地域が一つのチーム東山田として機能するよう、連携や協働をさらに深め、様々な活動の中心としての学校づくりを行います。 ・一人ひとりを大切にすきめ細やかな指導を継続し、ユニバーサルデザインや主体的・対話的で深い学びの視点を持った授業を展開し、学力向上を目指します。 ・コミュニティスクールとしての機能の充実を図り、地域連携を生かしたキャリア教育や防災教育の実践を通して、コミュニケーション能力の育成を図り、生きる力を育みます。 ・小中ブロック運営協議会を活用した小中一貫教育を推進し、9年間の学びの連続を通して、生徒が主体的・対話的で深い学びを実践することのできる学びの場にします。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく 知 担当 教科研究・学力向上・情報教育	①少人数授業や学習相談や夏休み学習サポート教室など個に応じた指導を充実させる。またパソコンや大型ディスプレイなどの機器を用いて、教科領域を合わせたあらゆる学習活動で積極的にICT教育の充実を図る。②保護者・地域・生徒の授業評価を受け、授業改善に取り組みます。
豊かな心 担当 道徳人権福祉・生徒会	①人権教育や平和教育・福祉教育などをテーマとした講演会を積極的に行うとともに、日常の道徳教育の充実によって心の教育を推進します。②生徒会や福祉委員会の活動の他、地域行事への生徒の積極的な参加や、清掃活動などのボランティア活動への参加を推進します。
健やかな体 担当 体育科・保健指導部	①けがや傷病のデータや予防法を生徒・職員・保護者に発信し、傷病や校内感染を未然予防するよう努める。②保健だよりや委員会活動を通じて、食生活の意識改善を図り、保護者・地域に食育に関する情報を発信する。③目標を持って運動に取り組み、楽しみながら体力向上につなげる。
児童生徒指導 担当 生徒指導・教育相談	①日常の声かけを活性化し相談活動を充実させることで、生徒の動向を把握し情報を共有することで、生徒一人一人が持つ内面的な課題やいじめについての早期発見と迅速な指導に役立てる。②関係機関との連携を強化し、講演会などを実施することで、問題行動を未然に防ぎます。
特別支援教育 担当 特別支援委員会	①不登校生徒に対する支援計画を明確にし、集団生活に戻るステップとしてリソースルームを位置づけ登校支援を行います。②ケース会議をより活性化させ、話し合いの内容を職員会議等で報告し、個別の教育支援計画・指導計画と合わせて全教職員が共有し、日常の指導に生かします。
キャリア教育 担当 総合学習	①コミュニケーション能力の育成をねらい、3年間の系統的なキャリア教育を実践することで取り組みの効率化をはかります。②教科指導と共に、学校関係者以外の多くの人との協働やプレゼンテーションの経験を通して、課題設定・課題解決能力を養い、進路決定に生かしていきます。
安全管理 担当 保健安全指導	①職員間の情報交換を密にし、緊急時の連絡体制を明確にし、対応を迅速にできるよう、安全研修会を実施します。②実態に即した三年間の防災教育を計画し、実践するとともに、地域防災訓練への職員及び生徒の参加を勧め、共助の精神を養い、いざという時地域で役立つ生徒を育てる。
いじめへの対応 担当 いじめ防止委員会	①「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を多様な場面で活用する。②生徒一人ひとりの状況について記録を作成し、校長をリーダーに、担任や各学年主任、生徒指導専任教諭からなるチームによる支援を進める。③「いじめ」根絶メソッドを使い職員研修を進め、教職員の感性を高める。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 研修企画・メンター	①主幹教諭を中心とした学年会組織を中心に、経験の浅い教職員の育成や支援を学校をあげて進めるとともに、互いに情報交換したり積極的に研修できるような雰囲気をつくる。②主幹教諭は朝の学年連絡会や学校運営協議会での様々な意見交換を通じ、学校運営を支える人材としての指導力を高め、組織の活性化をはかる。